

市指定重要文化財「旧時報鐘楼」

● 校長先生の話

北小学校では、伊勢崎市が推進する「いせさきGIGAALスクール構想」に基づき、これまで積み上げてきた教育実践と児童1人1台のタブレット端末などのICTを活用することで、個別最適化された学習を実現し、自律的な学び手を育てることを目指しています。

校内研修や週1回のミニ研修において、教職員のICTスキルアップを図るとともに、ICT活用推進チームが中心となって、ICTを活用した授業実践を積極的に行っています。「まずは、使ってみる」をスローガンに、教育DX推進スタッフの支援も得ながら、全職員がタブレット端末を使った授業づくりに挑戦しています。

授業の様子をお伝えします！ - 「ミライシード オクリンク」を使って -

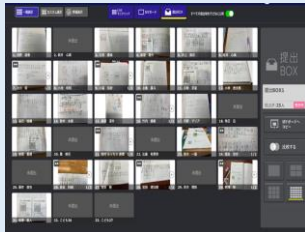
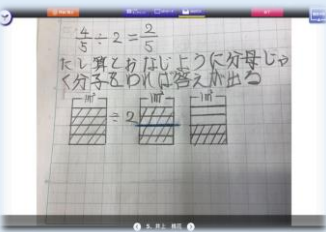
【実践例①】6年生 算数科

「分数のわり算」

「分数÷整数の計算」の仕方について考える場面で活用した。子供たちは計算の仕方をノートに書きカメラで撮ってカードにして共有した。

【成果】

○写真にすることで、いつものノートのまま瞬時に互いの考えを共有できた。また、タイピングが苦手な子供も一緒に活動することができた。



【実践例②】3年生 体育科

「かけっこ・リレー」

前時に撮影した映像を確認し、班ごとに課題を出し合った。出された課題は全体で共有し、学級としての課題を明確にした。

【成果】

○タブレットの映像を確認し、スローで再生したり、巻き戻して再生したりすることで、バトンパスの課題を焦点化することができた。



【実践例③】5年生 社会科

「国土の気候の特色」

グループで気候に関する調べ学習を行いカードにまとめた。カードはリーダーが集約し、一つのスライドにして発表した。

【成果】

○資料や完成したカードのやりとりがスムーズにできることで、話し合いの時間を充分にとることができた。

○資料に直接書き込んだり、色を付けたりしてわかりやすく説明することができた。



【実践例④】自立活動

「自分のことをしょうかいしよう」

自分の好きな物（動物、食べ物、キャラクター等）を調べ、スライドを作成し共有した。

【成果】

○言葉でうまく説明できない子供が、写真や絵を使って、自分のことを紹介できるため、抵抗なく活動することができた。

○スライドにより資料を視覚化することで、互いの発表内容の理解を支援できた。

